

<高 19 回 中村慎悟氏からの投稿>

菊友会會報 108 号特集②「九段の華麗なる卒業生たち！」について

いつも、菊友會報を楽しく読ませていただいております。

標記の記事で、NHKのプロジェクトXでも取り上げられた以下の人物の紹介が失念されていたと思われるので、お伝えさせていただきます。

「池田敏雄」氏：日本のコンピュータ産業の父(所属：富士通、紫綬褒章受章)

1936年に第一東京市立中学校（後の東京都立九段高等学校）に入学すると、背が高かったためバスケットボール部に勧誘された。中学5年の1940年の全国大会では全試合ダブルスコアで優勝しました。

学業では数学の才能を認められ、特別な指導を受けました。

1943年に大学を受験し、東京工業大学電気工学科に入学しました。

1946年に通信会社であった富士通信機製造株式会社（1967年に富士通と改名）に入社した池田敏雄氏は、世界でも最先端のコンピュータを開発し、会社を通信会社から現在の日本トップレベルのコンピュータ会社に押し上げました。

ちなみに、1940年にバスケット全国大会で圧倒的な優勝をはたした時は、私の父（中村三四郎(中学6回)）もチームメートでした。

その後、父が監督として、再度全国大会での優勝を果たしました。

都立(市立)の九段高校(第一東京市立中学校)が全国制覇したのは、後にも先にも、この二回だけです。

ご参考まで。

中村慎悟(高校19回)